

私立高等学校等専攻科生徒奨学給付金給付要綱の一部改正新旧対照表

改正前	改正後
私立高等学校等専攻科生徒奨学給付金給付要綱	私立高等学校等専攻科生徒奨学給付金給付要綱
[略]	[略]
(定義)	(定義)
第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。	第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。
(1)・(2) [略]	(1)・(2) [略]
(3) 専攻科生徒 高等学校等修学支援事業費補助金（専攻科の生徒への修学支援）交付要綱（令和2年4月1日 文部科学大臣決定）第3条又は国の設置する高等学校等に係る高等学校修学支援事業費補助金（専攻科の生徒への修学支援）交付要綱第3条に規定する専攻科支援金の補助要件を満たす者（同条第4号に該当せず、当該補助要件を満たさない者であって、次条第2項の規定を適用したならば、その保護者等が給付対象者となる場合にあつては、当該補助要件を満たさない者を含む。）をいう。ただし、児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について（ <u>平成11年4月30日厚生省発児第86号 厚生事務次官通知</u> ）による措置費等の支弁対象となる者で、特別育成費（母子生活支援施設の専攻科生徒を除く。）が措置されている者及び特別支援学校の専攻科に在学する者を除く。	(3) 専攻科生徒 高等学校等修学支援事業費補助金（専攻科の生徒への修学支援）交付要綱（令和2年4月1日 文部科学大臣決定）第3条又は国の設置する高等学校等に係る高等学校修学支援事業費補助金（専攻科の生徒への修学支援）交付要綱第3条に規定する専攻科支援金の補助要件を満たす者（同条第4号に該当せず、当該補助要件を満たさない者であって、次条第2項の規定を適用したならば、その保護者等が給付対象者となる場合にあつては、当該補助要件を満たさない者を含む。）をいう。ただし、児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について（ <u>令和5年5月10日こ支家第47号</u> ）による措置費等の支弁対象となる者で、特別育成費（母子生活支援施設の専攻科生徒を除く。）が措置されている者及び特別支援学校の専攻科に在学する者を除く。
<u>(新設)</u>	<u>(4) 災害等 令和6年1月1日以降に発生した災害等という。</u>
[略]	[略]
<u>(新設)</u>	<u>(災害等に起因する給付額の加算)</u>
	第6条 着用を義務付けられている制服が災害等により喪失又は毀損し、再度、制服の購入が必要である者のうち、次のいずれにも該当する者に対しては、給付額に81,000円を加算した額を給付するものとする。
	<u>(1) 給付対象者又は国が実施する高等学校等修学支援事業費補助金(専攻科の生徒への奨学のための給付金)に基づき他の都道府県が給付した給付金を受けた者。ただし、前倒し給付のみを受けた者を除く。</u>
	<u>(2) 基準日(基準日の翌日以降に災害等が発生した場合</u>

(給付申請及び認定)

第6条 給付金の給付を受けようとする給付対象者は、専攻科生徒の世帯の状況について、次の掲げる期間（以下「申請期間」という。）までに岩手県知事（以下「知事」という。）に申請するものとする。

(1)～(4) [略]

(新設)

2 前項による申請は、次の表の左欄に掲げる専攻科生徒の区分に応じ、同表の右欄に掲げる書類を様式第1号による給付申請書に添付して行うものとする。

専攻科生徒の区分	書 類
県内の高等学校等専攻科に在学する専攻科生徒	ア・イ [略] <u>(新設)</u>
県外の高等学校等専攻科に在学する専攻科生徒	ア～ウ [略] <u>(新設)</u>

3・4 [略]

(給付回数等)

第7条 給付金は、年度ごとに給付することとし、給付の回数は一人の専攻科生徒につき年1回、在学している間の通算2回（高等学校等専攻科の定める修業年限が1年の場合は1回）を上限とし、前条第4項の規定に基づき提出された振込口座届により口座へ振込むものとする。

2 [略]

(新設)

(代理受領等)

は、加算に係る申請のあった月の翌月の1日。ただし、災害等が発生した日が申請のあった月の初日の場合は、申請のあった月の1日。)において、私立の高等学校等専攻科に在学する生徒の生計維持者であって、県内に住所を有するもの

(給付申請及び認定)

第7条 給付金の給付を受けようとする給付対象者は、専攻科生徒の世帯の状況について、次の掲げる期間（以下「申請期間」という。）までに岩手県知事（以下「知事」という。）に申請するものとする。

(1)～(4) [略]

(5) 第6条に該当する者のうち、災害等の発生日が基準日以前である者 当該年度の7月1日以降

(6) 第6条に該当する者のうち、災害等の発生日が基準日の翌日以後である者 随時

2 前項による申請は、次の表の左欄に掲げる専攻科生徒の区分に応じ、同表の右欄に掲げる書類を様式第1号による給付申請書に添付して行うものとする。

専攻科生徒の区分	書 類
県内の高等学校等専攻科に在学する専攻科生徒	ア・イ [略] <u>ウ 第6条に該当する場合にあっては、当該事実を証明する書類</u>
県外の高等学校等専攻科に在学する専攻科生徒	ア～ウ [略] <u>エ 第6条に該当する場合にあっては、当該事実を証明する書類</u>

3・4 [略]

(給付回数等)

第8条 給付金は、年度ごとに給付することとし、給付の回数は一人の専攻科生徒につき年1回、在学している間の通算2回（高等学校等専攻科の定める修業年限が1年の場合は1回）を上限とし、前条第4項の規定に基づき提出された振込口座届により口座へ振込むものとする。

2 [略]

3 第1項の規定にかかわらず、第6条に規定する加算額の給付は、当該災害等につき1回に限り受けることができる。

(代理受領等)

<u>第8条</u> [略] (給付金の返還等) <u>第9条</u> [略] (補則) <u>第10条</u> [略]	<u>第9条</u> [略] (給付金の返還等) <u>第10条</u> [略] (補則) <u>第11条</u> [略]
備考 改正部分は、下線の部分である。	

附 則

この要綱は、令和6年3月27日から施行し、令和5年度分の事業から適用する。